

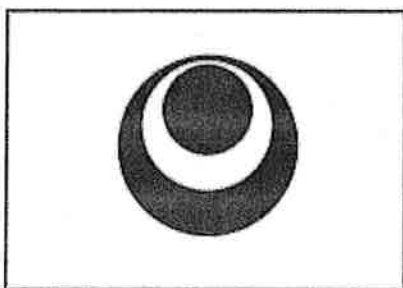
## IV 沖縄県の概況、観光資源等

---



# 1 沖縄県の概況

## (1) 沖縄県のシンボル



県章

外円は海洋を表し、白い部分はローマ字の「O」で沖縄を表現するとともに人の和を強調しています。また、内円は動的に、そしてグローバルに伸びゆく県の発展性を象徴し、いわば「海洋」「平和」「発展」のシンボルです。



県花 デイゴ

「デイゴ」は、マメ科の落葉大喬木で原産はインドです。

小枝の先端から花枝に総状花序をなし、深紅色で燃えたつように美しい花が3月から5月頃に咲きます。

深紅の花は、南国沖縄を象徴するのにふさわしく、観光資源として大きな効果があること、また幹材は、漆器の材料として用いられ経済的価値も高いという理由で「でいご」が県の花に選ばれ



県木 リュウキュウマツ

「リュウキュウマツ」は、年を経るにしたがって美しい樹冠が広がり、木の高さは15mにも達します。街路樹、風致樹、盆栽、防風林として広く利用されています。

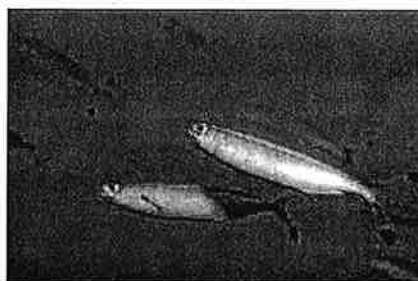
世界的にも沖縄独自のもので枝ぶりも美しく、増殖も容易で経済性に富んでいるという理由で県の木に選ばれました。



県鳥 ノグチゲラ

「ノグチゲラ」は、世界に類似したものがまったくない沖縄島特産の珍鳥で、国の特別天然記念物に指定されています。雄は額から後頭にかけて暗紅色で、雌は黒色です。

沖縄本島北部山地にのみ生息する稀な種類の一属一種の鳥であること、昭和30年に琉球政府が天然記念物に指定していること、そして生息数が減少し、そのまま放置すれば絶滅のおそれがあるという理由で、県の鳥として選ばれました。



県魚 タカサゴ(グルクン)

「タカサゴ」(方言名:グルクン)は、色彩豊かな25cm前後の美しい魚で、広く庶民に親しまれ、熱帯性で沖縄からインド洋にかけて分布しています。

一年を通して漁獲され、本県の主要魚種であること、沖縄独特の追込網漁業で大部分が漁獲されること、沖縄では数少ない大衆魚として広く県民の食卓に普及しており、かまぼこの原料にも利用されていること、さらに、沖縄の海を連想させる美しい色彩を持っており、味も良いという理由で「タカサゴ」が県の魚に選ばれました。

(2)位置

本県は、九州の南から台湾の間に連なる南西諸島の南半部を占める琉球諸島に属する大小160の島々(0.01km<sup>2</sup>以上)から成り立っている。これらの島々は、おおそ北緯24度から28度、東経122度から132度までに位置し、距離にして東西1,000km、南北400kmに及ぶ広大な海域に点在している。

本県は、日本本土、中国大陸及び東南アジア諸国を結ぶ要の位置にあり、また、太平洋と東シナ海を分ける位置にある。県都那覇市から1,000km以内にある主な都市は、福岡、台北、上海で、1,500km以内にある主な都市は、大阪、ソウル、香港、マニラとなっている。東京までの距離は、1,552kmである。

■東西南北端点

包 囲	位 置	北 緯	東 経	県庁からの距離(km)
北端	硫黄島北端	27° 53' 08"	128° 13' 20"	193
南端	波照間島南端	24° 02' 44"	123° 47' 18"	460
東端	北大東島真黒岬	25° 57' 05"	131° 19' 56"	366
西端	与那国島西崎	24° 26' 58"	122° 56' 01"	516

資料：国土地理院「日本の市町村位置情報要覧」、沖縄県企画調整課「沖縄県勢のあらまし」

■那覇－各地の距離

地 名	北緯	東経	距離(km)	地 名	北緯	東経	距離(km)
名護	26° 35'	127° 59'	52	宮古島	24° 48'	125° 17'	290
辺戸岬	26° 52'	128° 16'	94	石垣島	24° 20'	124° 09'	410
渡嘉敷島	26° 11'	127° 22'	31	硫黄島島	27° 53'	128° 13'	193
久米島	26° 21'	126° 45'	94	魚釣島	25° 44'	123° 17'	425
伊江島	26° 43'	127° 49'	57	赤尾嶼	25° 55'	123° 34'	314
粟国島	26° 35'	127° 14'	61	与論島	27° 03'	128° 25'	118
伊平屋島	27° 02'	127° 58'	96				
南大東島	25° 50'	131° 14'	360				
北大東島	24° 28'	131° 11'	400				

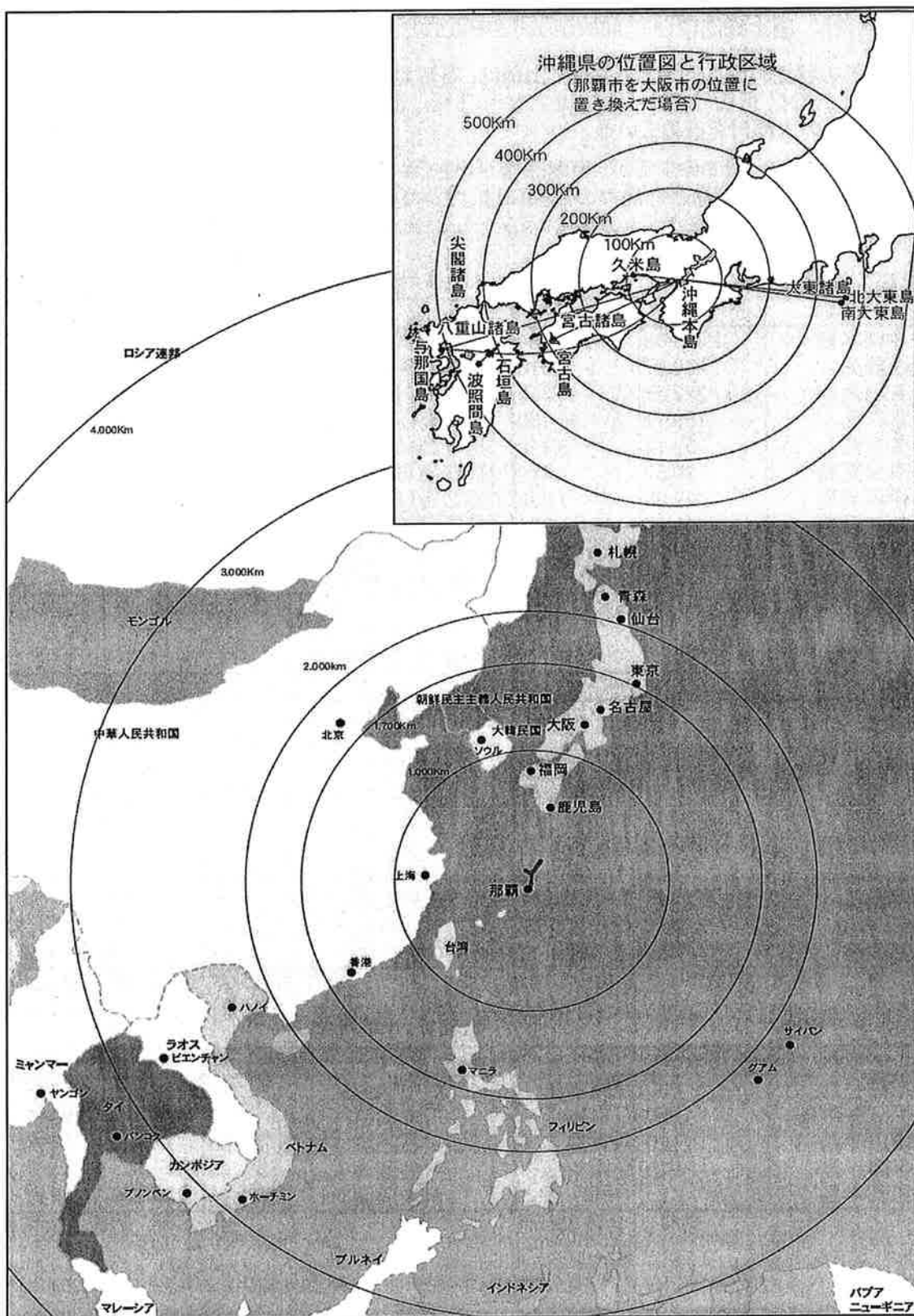
資料：沖縄県企画調整課「沖縄県勢のあらまし」

■那覇－各都市の距離

地 名	北緯	東経	距離(km)	地 名	北緯	東経	距離(km)
那覇	26° 13'	127° 41'	—	上海	31° 24'	121° 28'	835
札幌	43° 04'	141° 21'	2,244	北京	39° 56'	116° 17'	1,853
仙台	38° 16'	140° 52'	1,821	ソウル	37° 34'	126° 58'	1,260
東京	35° 41'	139° 41'	1,552	マニラ	14° 31'	121° 00'	1,470
大阪	34° 41'	135° 31'	1,202	ハノイ	21° 01'	105° 48'	2,303
名古屋	35° 10'	136° 54'	1,328	シンガポール	1° 22'	103° 59'	3,742
福岡	33° 36'	130° 25'	860	グアム	13° 33'	144° 50'	2,274
鹿児島	31° 34'	130° 33'	655	ホノルル	21° 21'	157° 56' (西)	7,497
台北	25° 02'	121° 31'	633	ウラジオストック	43° 07'	131° 56'	1,914
香港	22° 19'	114° 10'	1,438	リオデジャネイロ	22° 55' (南)	43° 10' (西)	19,032

資料：沖縄県企画調整課「沖縄県勢のあらまし」

[沖縄県の位置図]



資料出所：沖縄県企画部企画調整課「おきなわのすがた（平成20年3月版）」

### (3)地勢

琉球諸島は、沖縄諸島、先島諸島、尖閣諸島及び大東諸島から構成され、そのうち有人島は49島(沖縄本島及び沖縄本島と架橋等により連結された島を含む)である。最も大きな島は沖縄本島で、次に西表島、石垣島、宮古島の順となっており、この4島で県土面積2,274.32km<sup>2</sup>の約8割を占めている。また、県土の総面積は、国土総面積(377,906.97km<sup>2</sup>)の約0.6%で、全国で44位となっている。

本県の地形の特性を見ると、500mを越す山地は、石垣島の於茂登岳(526m)と沖縄本島北部の与那覇岳(503m)しかなく、低山性の小起伏山地となっている。また沖積低地も発達しておらず、丘陵地や台地・段丘が県土の大部分を占めている。

河川は、大小あわせて300余あるが、島嶼面積が小さくかつ低い山岳からなる地形条件のため流路延長が短くなっている。また、殆どの島々の周囲には、サンゴ礁が発達している。

(資料:沖縄県企画部「沖縄県勢のあらまし」)

#### 沖縄県的主要な島々

順位	名称	面積(km <sup>2</sup> )	人口
1	沖縄本島	1,205.68	1,210,464
2	西表島	289.27	2,010
3	石垣島	222.57	44,345
4	宮古島	159.11	48,350
5	久米島	59.11	9,448
6	南大東島	30.57	1,414
7	伊良部島	29.05	7,032
8	与那国島	28.84	1,781
9	伊江島	22.75	5,398
10	伊平屋島	20.59	1,512

資料:沖縄県土地対策課「おきなわの土地」

#### (参考:全国の主要な島々)

名称	面積(km <sup>2</sup> )	人口
佐渡島(新潟県)	854.88	71,667
奄美大島(鹿児島県)	712.21	70,898
対馬島(長崎県)	696.10	41,031
屋久島(鹿児島県)	504.56	13,794
種子島(鹿児島県)	445.52	35,415
福江島(長崎県)	326.00	43,632
徳之島(鹿児島県)	247.76	28,426
島後(島根県)	241.58	17,865
利尻島(北海道)	182.15	6,422
中通島(長崎県)	168.06	24,998

資料:沖縄県土地対策課「おきなわの土地」

#### 沖縄県的主要な山岳

順位	名称	標高(m)	所在地
1	於茂登岳	526	石垣市
2	与那覇岳	503	国頭村
3	桴海於茂登岳	477	石垣市
4	古見岳	469	竹富町
5	八重岳	454	本部町
6	嘉津宇岳	452	名護市
7	波照間森	447	竹富町
8	伊湯岳	446	東村・国頭村
9	テドウ山	441	竹富町
10	安和岳	432	名護市

資料:沖縄県土地対策課「おきなわの土地」

#### 沖縄県的主要な河川

順位	名称	流域面積	流路延長	河口市町村
1	浦内川	54.24	13,100	竹富町
2	比謝川	49.66	14,500	読谷村・嘉手納町
3	国場川	43.06	9,100	那覇市
4	安和川	42.09	8,500	国頭村
5	福地川	36.00	12,300	東村
6	宮良川	35.40	12,000	石垣市
7	天願川	31.61	11,900	具志川市
8	仲間川	28.41	7,450	竹富町
9	仲良川	23.85	6,000	竹富町
10	大保川	23.64	13,250	大宜味村

資料:沖縄県土地対策課「おきなわの土地」

#### 沖縄県的主要な半島

順位	名称	面積(km <sup>2</sup> )	所在地
1	本部半島	130	沖縄本島
2	平久保半島	50	石垣島
3	崎山半島	20	西表島
4	与勝半島	15	沖縄本島
5	知念半島	15	沖縄本島

資料:沖縄県企画部

#### 沖縄県的主要な湾

順位	名称	面積(km <sup>2</sup> )	所在地	型
1	中城湾	220	沖縄本島	半開放
2	金武湾	110	沖縄本島	閉鎖
3	名護湾	35	沖縄本島	開放
4	名蔵湾	25	石垣島	半開放
5	大浦湾	11	沖縄本島	開放

資料:沖縄県企画部

#### (4) 気象

##### ■ 沖縄の気候

沖縄県の気候は、亜熱帯・海洋性気候に属し、気温は平均22.7度(最高平均25.3度、最低平均20.5度)と1年を通じて温暖で、降雪、降霜もほとんどない。

年平均降水量は約2,037mmで、全国平均1,618mm(県庁所在地等における観測地の単純平均)を約26%上回っており、全国でも比較的雨の多い地域となっている。

##### ■ 沖縄の四季

夏が長く、天候の安定する盛夏期は6月末から7月中旬にあらわれやすい。梅雨期は本土より約1ヶ月ほど早く、梅雨期から夏にかけては高温多湿で、雨は熱帯並みに強く降る。また、猛烈な台風の影響が多い。

冬は一般的に季節風が強く、くもりや小雨の日が多い。

春秋が短く、季節の変化は本土ほどはっきりしていない。

資料:「美ら島 沖縄県観光情報ファイル」(財団法人沖縄観光コンベンションビューロー)

##### ■ 沖縄(那覇市)の気象状況(月別)

	気温(°C)			湿度 (%)	降水量 (mm)	日照時間 (時間)
	平均	最高	最低			
1月	16.6	19.1	14.3	69	114.5	95.3
2月	16.6	19.2	14.3	71	125.2	84.6
3月	18.6	21.3	16.2	74	159.6	108.9
4月	21.3	24.0	18.9	78	180.7	134.1
5月	23.8	26.4	21.5	80	233.8	149.5
6月	26.6	29.2	24.6	84	211.6	182.2
7月	28.5	31.3	26.4	79	176.1	243.6
8月	28.2	30.9	26.1	80	247.2	223.6
9月	27.2	29.9	25.1	77	200.3	196.6
10月	24.9	27.5	22.7	73	162.9	168.1
11月	21.7	24.2	19.5	71	124.1	120.9
12月	18.4	20.9	16.1	68	100.7	113.6
年	22.7	25.3	20.5	75	2,036.9	1,820.9

##### ■ 台風の発生数及び沖縄県への接近数(1971年から2007年の平均)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計
発生数		0.5	0.1	0.4	0.8	1.0	1.7	4.1	5.5	5.1	3.9	2.5	1.3	26.7
接近数	沖縄県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	1.5	2.3	1.4	0.8	0.5	0.0	7.0
	那覇	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7	1.1	0.8	0.4	0.2	0.0	3.6
	名護	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7	1.0	0.8	0.4	0.0	0.1	0.0	3.5
	久米島	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.8	1.2	0.7	0.4	0.2	0.0	3.6
	宮古島	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.6	1.2	0.8	0.4	0.2	0.0	3.6
	石垣島	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.7	1.2	0.8	0.3	0.2	0.0	3.7

(注)接近とは、台風の中心が沖縄県及び各島から300km以内を通過することをいう。

資料出所: 沖縄気象台

(5)人口

本県の人口は、復帰当時の昭和47年に約96万人であったが、その後年々増加し、平成20年10月1日現在(推計人口)、137万7,708人となっている。

平成12年から平成17年までの都道府県別の増加率では、東京都(4.2%)、神奈川県(3.5%)に次いで、沖縄県は全国で3番目に高い増加率(3.3%)となっている。

県内の地域別に人口をみると、約9割が沖縄本島に居住し、特に、県都那覇市を中心とした中南部に集中している。

注)‰(パーミル)は千分率である。

■人口及び世帯数の推移

(単位:人、世帯)

年次	区分	人 口			世帯数
		総人口	男	女	
大正 9年 ※		571,572	274,829	296,743	119,219
大正 14年 ※		557,622	267,933	289,689	120,002
昭和 5年 ※		577,509	272,797	304,712	122,713
昭和 10年 ※		592,494	281,266	311,228	125,782
昭和 15年 ※		574,579	270,680	303,899	122,790
昭和 20年 ※		0	—	—	—
昭和 25年 ※		698,817	328,908	369,909	143,638
昭和 30年 ※		801,065	381,939	419,126	156,769
昭和 35年 ※		883,122	422,843	460,279	193,023
昭和 40年 ※		934,176	447,693	486,483	194,126
昭和 45年 ※		945,111	451,393	493,718	214,810
昭和 50年 ※		1,042,572	510,754	531,818	254,685
昭和 55年 ※		1,106,559	543,692	562,867	292,447
昭和 60年 ※		1,179,097	581,102	597,995	334,778
昭和 61年		1,191,547	586,734	604,813	342,306
昭和 62年		1,202,209	591,161	611,048	350,668
昭和 63年		1,210,346	594,225	616,121	358,848
平成元年		1,217,458	597,096	620,362	365,327
平成 2年 ※		1,222,398	598,669	623,729	368,295
平成 3年		1,229,296	602,032	627,264	375,211
平成 4年		1,238,754	606,618	632,136	382,646
平成 5年		1,249,313	612,250	637,063	390,184
平成 6年		1,261,856	618,930	642,926	398,487
平成 7年 ※		1,273,440	624,737	648,703	404,253
平成 8年		1,281,766	628,881	652,885	412,287
平成 9年		1,290,373	633,144	657,229	421,104
平成 10年		1,299,822	637,868	661,954	431,258
平成 11年		1,310,254	643,192	667,062	441,631
平成 12年 ※		1,318,220	647,877	670,343	446,286
平成 13年		1,327,632	652,378	675,254	456,205
平成 14年		1,337,975	657,659	680,316	466,279
平成 15年		1,347,304	662,092	685,212	476,362
平成 16年		1,357,216	666,528	690,688	486,501
平成 17年 ※		1,366,854	671,001	695,853	498,411
平成 18年		1,368,137	671,092	697,045	499,094
平成 19年		1,373,754	673,146	700,608	508,064
平成 20年		1,377,708	674,578	703,130	516,727

1 ※は「国勢調査」による。

2 昭和25年、30年、35年は12月1日現在、他は10月1日現在である。

3 世帯数:大正9年～昭和55年まで普通世帯、昭和56年～総世帯。

資料:沖縄県企画部統計課「推計人口」、国勢調査



(6) 市町村の人口・世帯数・面積

市町村名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km <sup>2</sup> )
市部	1,074,832	417,544	972.68
那覇市	312,938	128,627	39.23
宜野湾市	90,018	36,344	19.69
石垣市	47,475	20,549	229.00
浦添市	108,707	41,146	19.09
名護市	59,270	23,860	210.29
糸満市	57,523	20,521	46.63
沖縄市	132,264	49,882	49.00
豊見城市	54,025	18,825	19.45
うるま市	116,573	41,730	86.10
宮古島市	55,423	22,646	204.50
南城市	40,616	13,414	49.70
国頭郡	66,709	27,157	576.80
国頭村	5,632	2,385	194.80
大宜味村	3,478	1,612	63.29
東村	2,029	869	81.79
今帰仁村	9,505	3,671	39.89
本部町	14,282	5,821	54.30
恩納村	10,295	4,122	50.80
宜野座村	5,396	1,925	31.32
金武町	10,990	4,626	37.84
伊江村	5,102	2,126	22.77
中頭郡	145,750	51,325	106.67
読谷村	38,675	12,836	35.17
嘉手納町	13,727	4,999	15.04
北谷町	27,034	9,874	13.63
北中城村	16,177	5,772	11.53
中城村	16,252	5,728	15.46
西原町	33,885	12,116	15.84

注1) 人口及び世帯数については、平成19年3月31日現在の住民基本台帳に記載されている数値である。

注2) 面積については、平成18年10月1日現在の国土交通省国土地理院調査による。(但し、那覇市及び豊見城市並びにうるま市及び金武町の境界未定部分については、平成19年度普通交付税の算定に用いる市町村面積の協定書によって確定した。)

注3) 資料出所：沖縄県企画部市町村課

市町村名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km <sup>2</sup> )
島尻郡	93,049	33,186	234.25
与那原町	15,687	5,503	5.02
南風原町	33,645	11,287	10.72
渡嘉敷村	712	369	19.18
座間味村	1,039	534	16.74
粟国村	858	458	7.64
渡名喜村	474	239	3.74
南大東村	1,334	609	30.57
北大東村	521	209	13.10
伊平屋村	1,488	562	21.72
伊是名村	1,788	797	15.42
久米島町	9,097	3,788	63.50
八重瀬町	26,406	8,831	26.90
宮古郡	1,365	533	21.91
多良間村	1,365	533	21.91
八重山郡	5,813	2,943	362.97
竹富町	4,153	2,167	334.02
与那国町	1,660	776	28.95
県計	1,387,518	532,688	2,275.28
市部計	1,074,832	417,544	972.68
郡部計	312,686	115,144	1,302.60

## (7) 沖縄の島々

沖縄県は、東西約1,000km、南北約4,00kmの広大な海域に160の島々が点在する全国でも有数の島しょ県であり、沖縄本島を除く39の有人離島に県人口の約10%を占める約13万4千人の人口が住んでいる。

これらの離島のうち久米島、宮古島、西表島を除いてほとんどが小規模な島である。

島々の地形は大きく二つのタイプに分けられ、隆起サンゴ礁を主とする扁平、楕円形のものや古成層等による険しい山地型のものがある。沖縄本島南部及び宮古島、多良間島、南大東島は前者であり、沖縄本島北部及び石垣島、西表島、慶良間列島、与那国島等は後者の例である。

島しょ周辺の海域は、よく発達した裾礁を持ち亜熱帯性の魚類をはじめ様々な生物が数多く生息しており、海水の透明度も非常に高く、美しい景観をつくり出している。

また、各離島の集落は、赤瓦や石垣、フクギの屋敷林など独特の景観をつくり出しているが、近年、過疎化の進行や、建築様式の変化等で次第に特色ある集落景観が失われつつある。

### ■ 沖縄の有人離島の概況（沖縄本島を除く）

島名	市町村名	世帯数(世帯)	人口(人)	面積(k㎡)	特徴
伊平屋島	伊平屋村	513	1,374	20.59	伊平屋島は、沖縄本島北部半島から北へ約41kmに位置し、沖縄県最北端の有人島です。島には「天の岩戸伝説」で知られる県指定の天然記念物「クマヤ洞窟」や、樹齢300余年の琉球松の古木で日本名木100選にも選ばれた「念頭平松」、山一面くばの木が生い茂り、天然記念物に指定されている「久葉山」があります。島の南端は白いパウダーサンドの米崎ビーチがあり、この海の色は透明からコバルトブルー、そして濃紺へと変わり、その色彩は一見の価値があります。歴史的には、琉球を統一した第一尚氏の発祥地であり、その先祖の屋敷大主の墓があります。
野甫島	伊平屋村	49	114	1.06	野甫島は、伊平屋島の南西にあり、全長680mの野甫大橋で伊平屋島に結ばれています。最も標高の高い地点で43mという平坦な島です。手つかずの自然が比較的昔のままの姿で残され、近年、島の沖合で沖縄でも最大級のテーブル珊瑚が発見されています。
伊是名島	伊是名村	797	1,788	14.14	伊是名島は、沖縄本島北部の今帰仁村より北西約27km、東シナ海に浮かぶ、周囲約16kmの島です。島の南東から北西にかけて山々が連なり、南側の伊是名山一体は、天然の盆栽を思わせる美しい琉球松の群立した絶景の地です。琉球王朝第二尚氏を開祖した尚円王の生まれ島としても名高く、今なお往時の歴史を伝える文化財や遺跡などが島内に数多く残されています。
伊江島	伊江村	2,126	5,102	22.77	伊江島は、沖縄本島北部、本部半島の北西9kmの海上にあり、北東には伊是名島・伊平屋島が、南西側には遠く慶良間列島を望むことができます。島の輪郭は、特産の落花生の形に良く似た楕円形状で、東西8.4km、南北3km、総面積は22.73k㎡です。南海岸の暖やかな砂浜と対照的に、北海岸は高さ約60mの断崖絶壁が連なります。島の中央やや東よりに標高172mの城山(ぐすくやま、通称イージマツチャー)がそびえ、特徴的な景観を見せています。
水納島	本部町	29	53	0.47	本部半島の西方約7kmに位置する標高12mと平坦な隆起環礁状の島。島の形から、「クロワッサンアイランド」と呼ばれ、沖縄の観光ホスターなどにもよく登場します。島の東から北にかけて連なる純白の砂丘、島を取り巻くように発達したサンゴ礁、エメラルドグリーン色の海的美しさは、沖縄観光のキャッチフレーズ「海と空の美しさ」を象徴する景観です。

島名	市町村名	世帯数(世帯)	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	特徴
津堅島	うるま市	280	600	1.88	津堅島は、勝連半島の南東約4kmの地点にある、周囲約7km、面積1.88km <sup>2</sup> の島。うるま市勝連平敷屋港から高速艇で15分で行くことができます。 島の土質は、根菜類に適しており、島の中央部はほとんどが人参畑。「キャロット・愛ランド」とも呼ばれています。
久高島	南城市	145	290	1.38	久高島は、沖縄本島の東南端に位置し、知念岬の東方約5.4kmの海上に浮かぶ平坦な島です。 琉球開びやくの神話や秘儀イザイホーが伝承されていたとして、神の島、民族の島と呼ばれ、今なお年間30余の祭祀が行われています。
粟国島	粟国村	458	858	7.64	粟国島は、那覇市の北西およそ60kmの海上に位置しており、東に沖縄本島・伊江島、南に慶良間諸島・渡名喜島、南西に久米島を遠望することができます。 最近では、映画「ナビイの恋」のロケ地やギンガメアジの大群に遭遇できるダイビングスポットとしても注目されています。
渡名喜島	渡名喜村	239	474	3.46	渡名喜島は、那覇の北西58kmの洋上に位置しています。内面を東に向けたやや三日月型の周囲12.5kmという小さな島で、北部は緩やかな丘陵地帯、南部は石灰岩が露出した山岳地帯、南東部は絶壁をなして海に臨んでいます。 伝統的な赤瓦の家屋が比較的多く残っており、重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。
座間味島	座間味村	329	661	6.66	那覇市から高速船で50分、西へおよそ40kmの東シナ海に浮かぶ亜熱帯の美しい島々「ケラマ諸島」。座間味島は、そのケラマ諸島の西半分島々からなる座間味村の、最大の有人島です。 透明度抜群の海と世界屈指の珊瑚礁、数々の熱帯魚にいろいろと知られた海中景観でダイビングのメッカとして知られ、国内有数のホエールウォッチングのポイントとしても定着しています。
阿嘉島	座間味村	171	305	3.82	座間味村の有人島の中で2番目に大きな島で、座間味島の座間味港から南西約3kmの位置にあります。 透明度の高い海と世界屈指の珊瑚礁に囲まれ、ダイビングやホエールウォッチングが盛んで、毎年多くの観光客が訪れます。
慶留間島	座間味村	34	73	1.15	座間味村の3つの有人島の中で一番小さな島で、阿嘉大橋で阿嘉島と結ばれています。 透明度の高い海と世界屈指の珊瑚礁に囲まれ、ダイビングやホエールウォッチングに最適な島として、観光客の人気を集めています。
渡嘉敷島	渡嘉敷村	364	706	15.29	那覇の西方30kmの海上、慶良間諸島の東端に位置する島です。 座間味村の各島と慶良間列島を構成し、周辺海域は抜群の透明度と世界屈指のサンゴ礁、数々の熱帯魚に彩られた景観でダイビングのメッカとして知られ、春先にはザトウクジラが回遊する国内有数のホエールウォッチングのポイントとして数々のイベントが開催されます。
前島	渡嘉敷村	5	6	1.6	渡嘉敷島より東5kmの海上に浮かんでいる周囲約6kmの島です。
久米島	久米島町	3,774	9,062	59.11	那覇市の西方100kmの東シナ海に位置する久米島は、古くから海外交流の要所として栄えてきました。 島の南東海岸部は、平成8年に「日本の渚百選」に選ばれたアイブーチがあり、美しい海浜地帯となっています。島の中央部分に連なる山地から海岸線に向かって穏やかな傾斜地が広がり、平地は耕地として使用されています。 県指定の無形文化財である「久米島紬」は評価が高く、また、数多くの遺跡が残る久米島は、歴史、文化、自然の調和したリゾート地として注目されています。 2008年10月には、キクザトサワヘビの生息地がラムサール条約に登録されました。

島名	市町村名	世帯数(世帯)	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	特徴
奥武島	久米島町	11	29	0.63	久米島の東800mの沖合いに位置する島。昭和58年、久米島との間に海中道路が開設されました。久米島といえは連想する「奥武島の量石」やウミガメ館があるのもこの島です。 また、2004年に海洋深層水を100%使用した温浴施設「バーデハウス久米島」がオープンし、注目をあびています。
オーハ島	久米島町	3	6	0.37	奥武島の東400mにあり「東奥武(アガリオー)」とも呼ばれる島。
北大東島	北大東村	209	521	11.94	沖繩本島の東方約360kmに位置する北大東島は、沖繩でもっとも早く朝日が昇る島です。 北大東島は、珊瑚環礁が隆起してできた島で、中央部は盆地のように窪んでおり、大小20数個の沼や湿地が散在しています。
南大東島	南大東村	609	1,334	30.57	南大東島は、沖繩本島(那覇)から東へ約400km、飛行機で約1時間、定期船で約13時間の太平洋上に位置しています。島全体が隆起環礁でできており、断崖絶壁に囲まれた島です。 内陸は見渡す限りサトウキビ畑が一面に広がり、島の中央部は湿地帯で大小50余りのカルスト湖沼が点在しています。沖繩県最大の湖沼「大池」は、周囲が約4kmあり、北側の湿地帯にマングローブを形成するオヒルギ群落が生息しています。 その他にも、国指定の天然記念物・ダイウオオコウモリなど、大陸から隔離された南大東島には、その特異な自然環境によって育まれた固有の動植物が数多く生息しています。 また、島の海域は漁場に恵まれ、マグロ、サワラ等の漁獲が豊富であり、国内では八丈島に次ぐ国内最大規模の掘り込み式漁港があります。
宮古島	宮古島市	19,497	48,161	159.21	沖繩本島(那覇)の南西約290km、飛行機では約45分の場所に位置しています。 県内屈指の美しい海は、ダイビングをはじめとするマリンスポーツに最適です。 毎年4月に行われるトライアスロン大会は、国内外のアスリートの憧れの大会となっており、島の人々の熱い応援も魅力となっています。 勇壮な景観で日本百景にも選定されている東平安名崎、真っ白な砂浜が7kmにわたって続き、東洋一といわれる与那覇前浜など、景勝地も多くあります。
池間島	宮古島市	413	774	2.83	池間島は、宮古島の北約1.3kmに位置し、古くからカツオの一本釣りが盛んな漁民の島です。 '95年には両島を結ぶ全長1,425mの池間大橋が完成しました。以来、池間大橋は、島民の重要な交通網として利用されるだけでなく、橋の両側に広がるコバルトブルーの海を眺める絶好の観光スポットとしても人気を集めています。 また、島の北方海上5～15kmには大小100余りからなる日本最大級の珊瑚礁群「八重干潮(やびじ)」があり、毎年海中から姿を現す旧暦の3月2、3日には八重干潮まつりが行われ、島外から多くの観光客が押し寄せます。
大神島	宮古島市	17	40	0.24	大神島は、平良市島尻の漁港から航路約15分の位置にあり、周囲約2kmの小島です。 古くから神の島とされ、現在も集落以外の多くの場所は聖域となっており、立ち入りが禁じられています。
来間島	宮古島市	93	186	2.84	来間島は、宮古島の南西方向約1.6kmに位置し、下地側から海を挟んで与那覇前浜沖の海上に浮かぶ周囲6.5km、面積2.83km <sup>2</sup> の島です。 1995年3月に来間島と宮古島を結ぶ県営一般農道「来間大橋」が開通したことにより、島の住民生活、産業経済が大きく変化しました。来間大橋は、宮古島でも屈指の砂浜・与那覇前浜から架かっており、橋の下には美しいコバルトブルーの海が広がっています。